

工 事 名：九州大学（馬出）生体防御医学研究所増築棟新営その他工事

質 問 回 答 書

質 問 回 答 書

工 事 名：九州大学（馬出）生体防御医学研究所増築棟新営その他工事

質問 No.	図面番号	質 問	回 答
1	現場説明書 P3	5 施工に関する事項 ⑥その他 設備棟及び渡り廊下の取り壊し工事については、令和7年11月末までに完了予定である別途工事の完了後に行うものとする。の記載がありますが、工事着工は令和7年9月1日となっています、別途工事の完了までの令和7年9月～11月までの3ヶ月間は、本工事が着工できませんので、解体工事の着手は令和7年12月からとなります、工程検討の結果工事完了は令和9年3月末迄と考えて宜しいでしょうか。又、令和7月～11月の3ヶ月間の工事内容を御指示願います。	完成期限は現場説明書P2に記載のとおりです。令和7年9月～令和7年11月末までの期間については、現場説明書P3に記載している、土壌汚染対策法に基づく「形質変更時要届出区域における土地の形質の変更届出書（12条）」及び「汚染土壌の区域外搬出届出書（16条）」の作成・提出、資材等の手配や仮設工事等です。
2	現場説明書 現場説明書別図	現場事務所の設置場所の記載がありませんが、構内に現場事務所に設置可能と考えて宜しいでしょうか。又、設置場所を御指示願います。	現場説明書別図に記載している工事用地（添付参照）に設置可能です。
3	現場説明書 現場説明書別図	工事用車両の駐車場の場所の記載がありませんが、構内での駐車場が可能と考えて宜しいでしょうか、駐車場の利用可能な範囲を御指示願います。	乗用車等の通常の車両は大学構内の駐車場が使用可能ですが状況によっては場所指定とします。また、構内に駐車できない場合は構外への駐車をお願いいたします。大型車両や特殊車両については原則仮囲い内としますが、やむを得ない場合は監督職員との協議とします。
4	A-41図	A-41図 1階 支援・交流スペース(大) D面に下地補強:角型鋼管W200が3ヶ所の記載になっていますが、A-37図 1階 支援・交流スペース(大) Y8通りの壁は、フラットになっていますが、設置方法及び角型鋼管の材種・寸法が不明です御指示願います。	鋼材□-100x50x2.3を2本並べW200を確保し、展開図に記載の寸法位置に開口補強の要領で壁LGS下地スタッドに添わせて設置また上下スラブに取付金具（Lアングル等）で固定と致します。
5	S-13. A-10	S-13図D通-2160～11～12通の坪庭部分は捨てコンクリートと考えてよろしいでしょうか。A-10図ビル階平面図では斜線はなく相違しています。	宜しいです。
6	A-21. A-23	全体東立面図が2枚あるのですが、A-23図は西立面図と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
7	S-28. 30	S-28図床リストCS20Aの短辺下端は'D10@100となっておりますが、S-30図片持ちスラブ配筋図では'D13@100と相違しています。S-28図を正としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
8	S-26	柱リスト 特記事項で2. フラグは溶接閉鎖型ととなっておりますが、中子筋はなしと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

質 問 回 答 書

工 事 名：九州大学（馬出）生体防御医学研究所増築棟新営その他工事

質問 No.	図面番号	質 問	回 答
9	A-27. S-14	A-27図12通+1700スラブ 部分に擁壁のようなものがありますが、S-14図構造図はピットとなっており擁壁はありません。詳細をご指示願います。	G-6を参照ください。
10	S-27. 28. 04	地上大梁、小梁の増打要領はS-04図5. 梁5-8増打補強に倣うと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
11	S-14. A-10	床下点検口の数がA-10図とS-14図で相違しています。A-10図を正としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
12	A-32. 21	A-32図2階バルコニー躯体立上り壁の高さ(D-10. D-12)がA-21図の立面図と逆転しているように見えます。A-21図の立面図を正としてよろしいでしょうか。	宜しいです。 A-32平面詳細図のD-10をD-12と、D-12をD-10と読み替えて下さい。
13	S-01. A-59	A-59図D-201屋上パラペットに保護コンクリートt60、溶接金網φ6-100となっておりませんが、S-01図5. 鉄筋コンクリート2. 鉄筋では溶接金網φ6-150 x 150となっており相違しています。R階屋上防水押え部分は溶接金網φ6-100 x 100と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
14	S-18	R階の目隠し壁、RC階段、設備基礎、ハ小屋のコンクリート強度はすべてFC=33、スラブ 18と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
15	S-31. A-59	S-31図の目隠し壁の主筋は8-D16となっておりますが、A-59図D209屋上防音壁ではRC基礎主筋が8-D13となっております。S-31図を正としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
16	A-20. A-59	A-59図ハ小屋4ではスラブはねだし寸法が400となっておりますが、A-20図ハ小屋4ははね出しスラブがないように見えます。ハ小屋4のはねだしスラブの寸法はA-59図に倣うと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

質 問 回 答 書

工 事 名：九州大学（馬出）生体防御医学研究所増築棟新営その他工事

質問 No.	図面番号	質 問	回 答
17	S-14	10～11通、F通+2500部分はスラブはなしと考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	宜しいです。
18	A-30	床下断熱材1階部分ポリスチレンフォームt30、2階食事スペース下にポリスチレンフォームt50と記載がありますが、t30、t50とも種類はポリスチレンフォーム保温板3種と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
19	-	学校行事(入学試験及び学内試験等)で工事が中止となる期間をご教示ください。	R8年1月16～18日、2月25～27日、3月11、12日については工事中止となります。その他については現時点で日程が明確ではないため、確定次第、監督職員より共有いたします。
20	S-13	捨てコンクリート(t=100)の下は碎石は必要でしょうか。必要の場合は厚さは(t=100)と考えてよろしいでしょうか。	必要です。 厚さは、60mmです。
21	特S-02	6. コンクリート工事 普通コンクリート 躯体FC=33、スランプ 18の水セメント比は65%以下、単位水量185kg/m3以下、単位セメント量270kg/m3以上と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
22	A-10、S-05	A-10図釜場の詳細図がございましたらご教示願います。	形状は、幅500mm×長さ1000mm×深さ300mmです。 底版と側壁の厚さは150mm、配筋はD10@200シングルとなります。
23	特-03・A-52	特記仕様書-3 16. 建具工事 ガラス 断熱性による区分 T-3・乾燥気体の種類 アルゴンの記載になっています、建具表-1図のAW-108・109・110・111・112の硝子には、アルゴンガス入り硝子は製作が出来ません。AW-108・109・110・111・112の断熱性能 T-3を確保する為には、硝子を全て、LOWEガラス+ A12に変更する必要がありますので、上記の仕様にて見積を計上しても宜しいでしょうか。	建具表記載の内容としてください。 左記の建具についてのみ乾燥気体の種類は空気とし、断熱性による区分は無視してください。
		— 以 上 —	

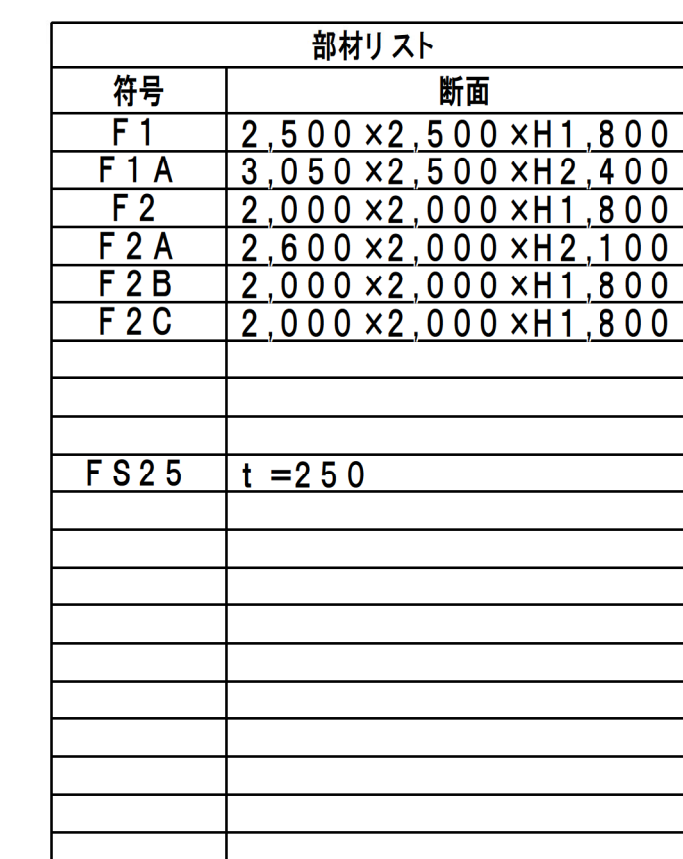
工事名：九州大学（馬出）生体防御医学研究所増築棟新営その他工事

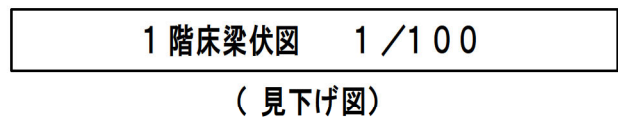
指 示 書

指 示 書

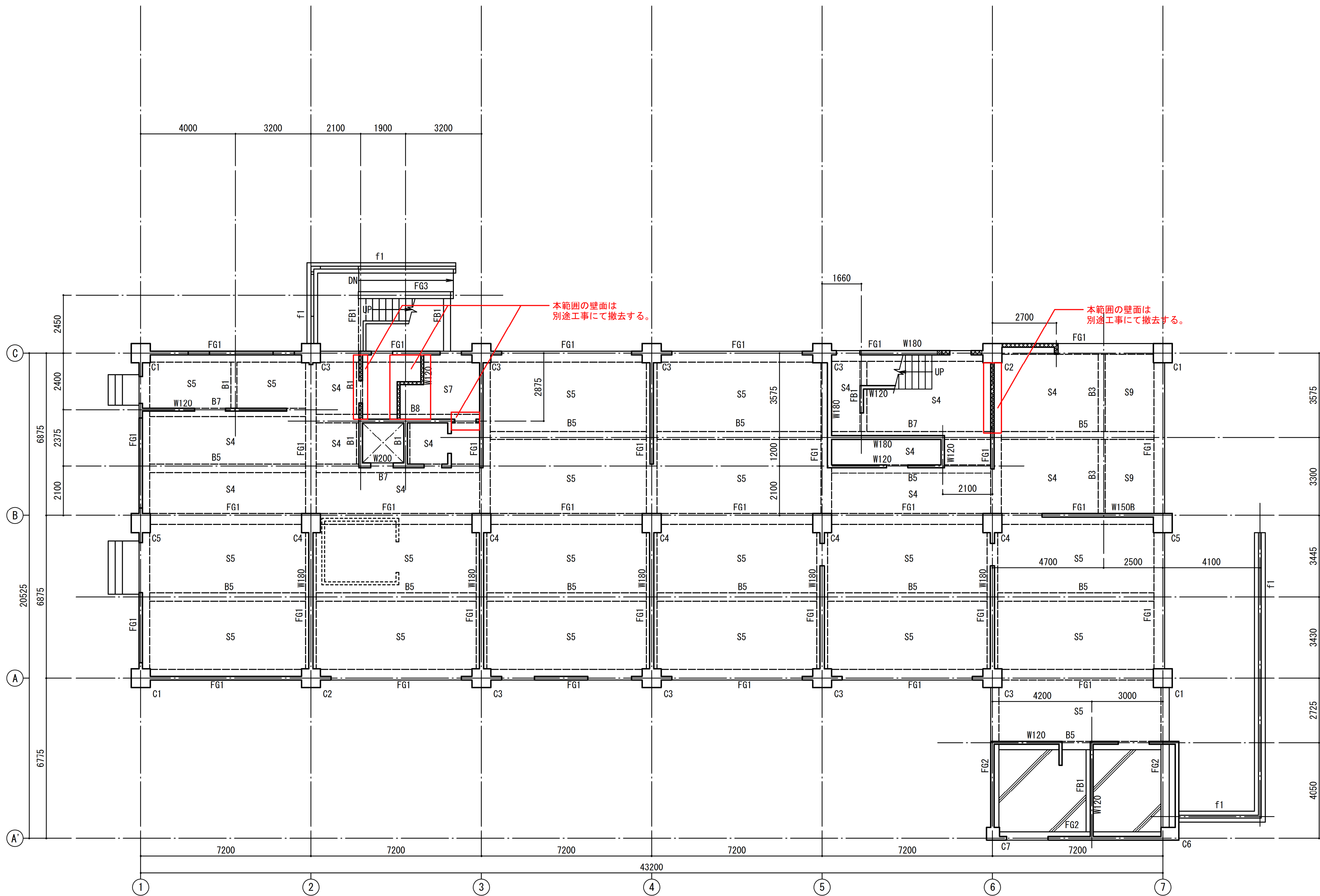
工事名：九州大学（馬出）生体防御医学研究所増築棟新営その他工事

[illegible]





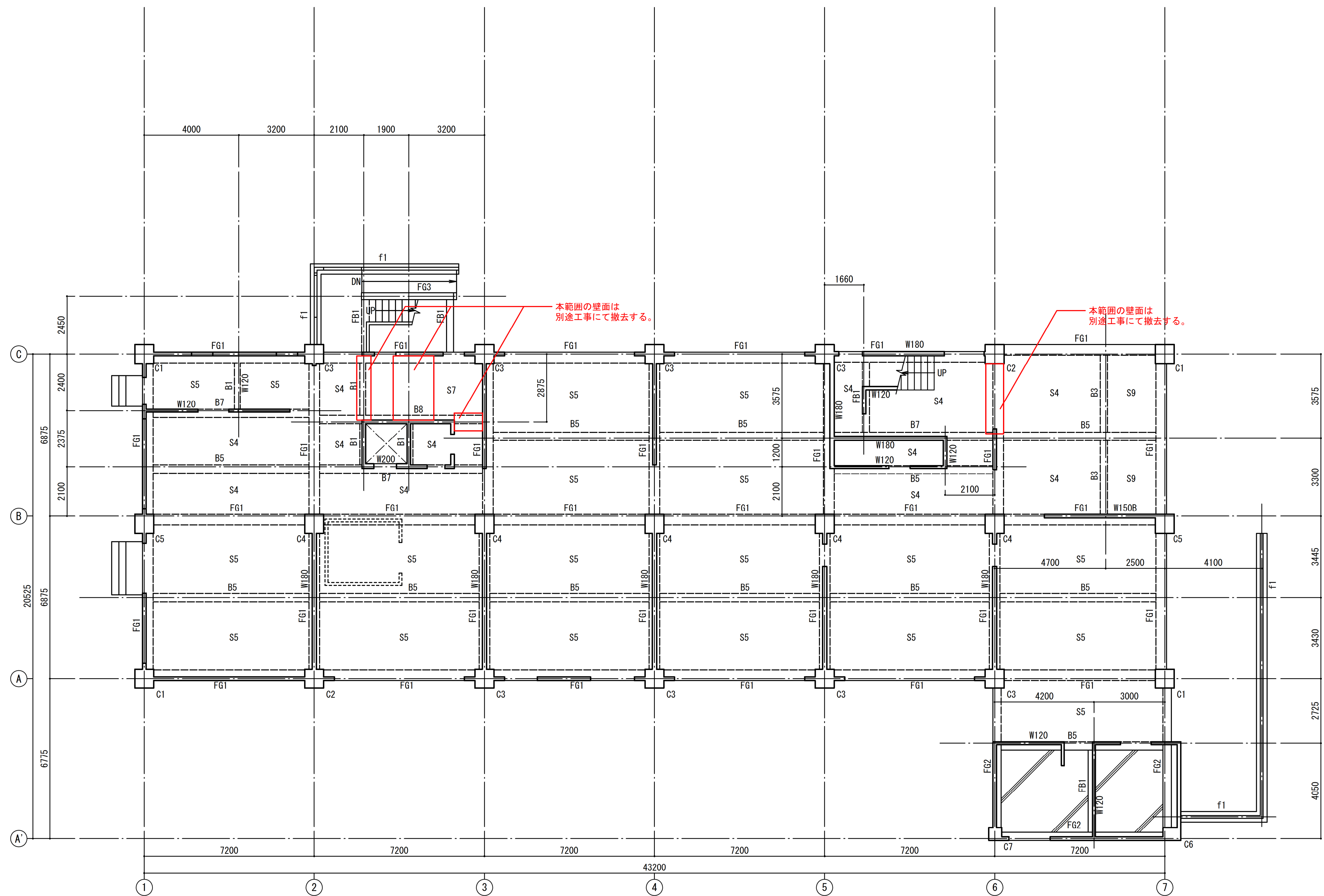
凡 例	
	壁撤去（既存鉄筋も撤去）
	壁撤去（既存鉄筋は残す）



1階床梁伏図
【改修前】

※ 特記なき壁厚は、150とする。
は、土間コンクリートを示す。

修正対象箇所を で示す。

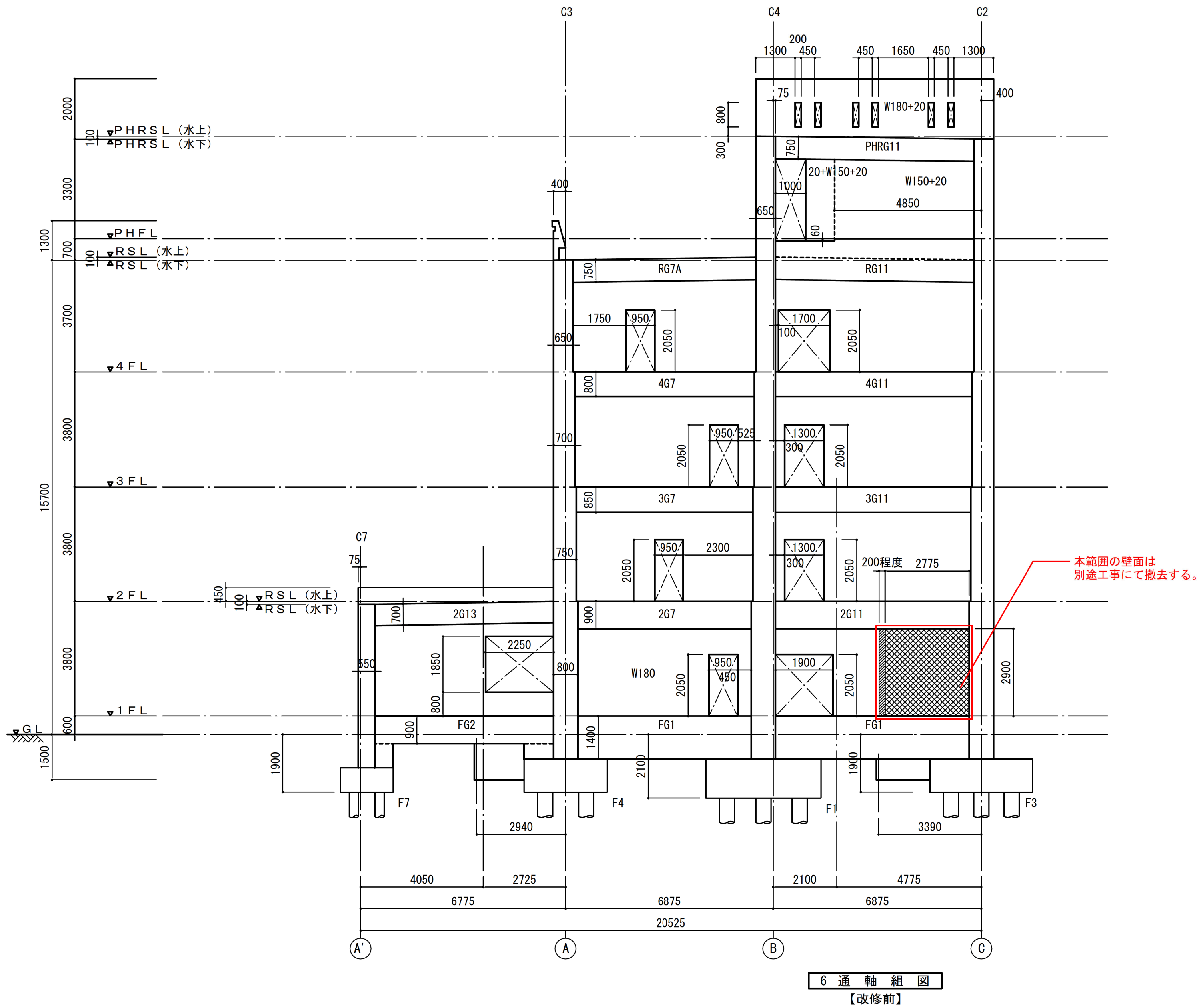


1階床梁伏図
【改修後】

※ 特記なき壁厚は、150とする。
は、土間コンクリートを示す。

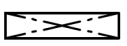
修正対象箇所を で示す。

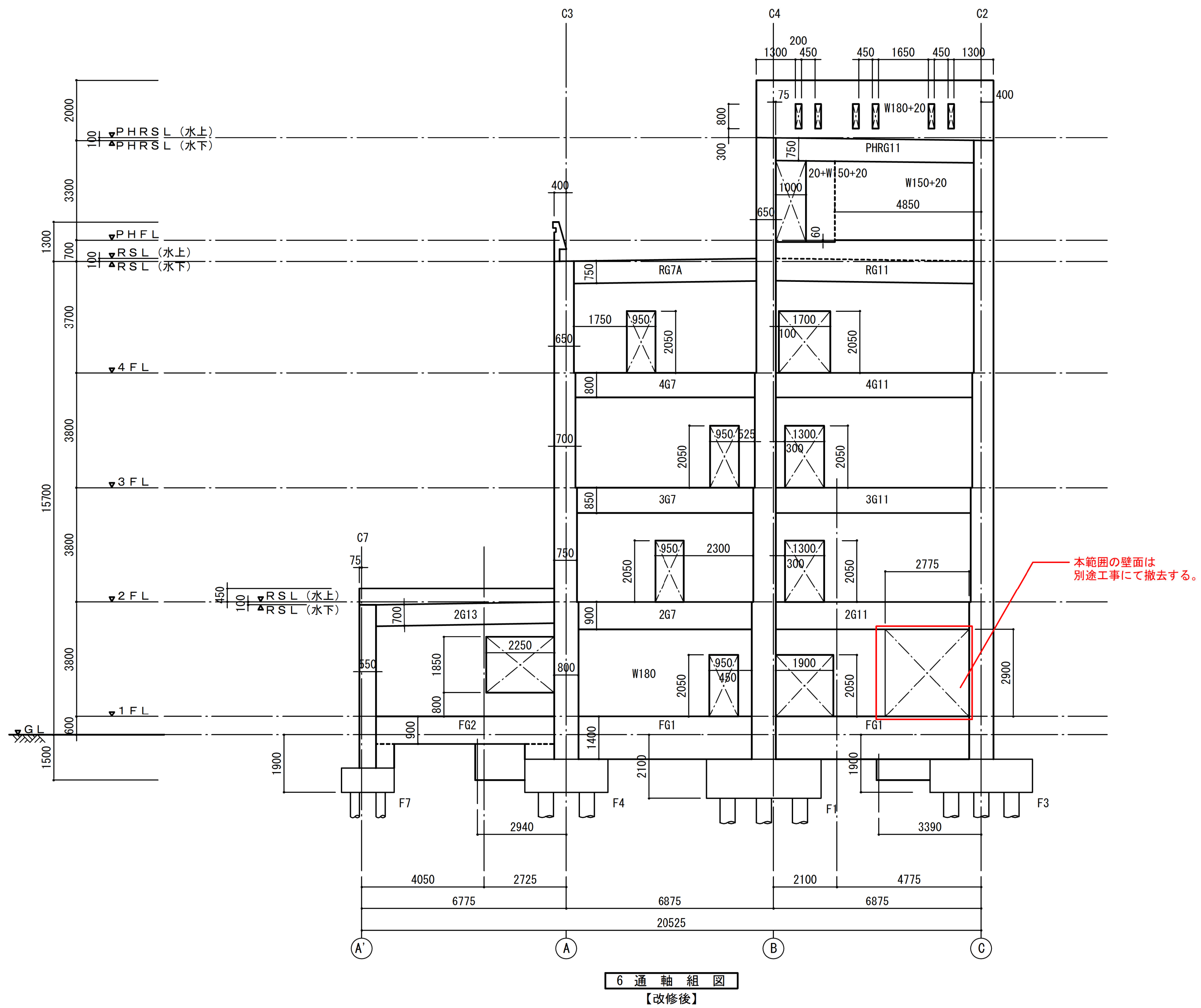
凡 例	
	壁撤去（既存鉄筋も撤去）
	壁撤去（既存鉄筋は残す）



※ 特記なき柱、梁寸法は、同左とする。
特記なき開口寸法は、同左又は同上とする。
特記なき柱寸法は、芯据分けとする。
特記なき壁厚は、150とする。

修正対象箇所を  で示す。

凡 例	
	新規開口



※ 特記なき柱、梁寸法は、同左とする。
特記なき開口寸法は、同左又は同上とする。
特記なき柱寸法は、芯据分けとする。
特記なき壁厚は、150とする。

修正対象箇所を  で示す。